

チョレイ

Polyporus Sclerotium

POLYPORUS

猪苓

本品はチョレイマイタケ *Polyporus umbellatus* Fries (*Polyporaceae*) の菌核である。

性状 本品は不整の塊状を呈し、通例、長さ 5 ~ 15 cm である。外面は黒褐色～灰褐色を呈し、多数のくぼみとあらいしわがある。折りやすく、折面はやや柔らかくコルクようで、ほぼ白色～淡褐色を呈し、内部には白色のまだら模様がある。質は軽い。

本品はにおい及び味がない。

確認試験 本品の粉末 0.5 g にアセトン 5 mL を加え、水浴上で振り混ぜながら 2 分間加温した後、ろ過し、ろ液を蒸発乾固し、残留物を無水酢酸 5 滴に溶かし、硫酸 1 滴を加えるとき、液は赤紫色を呈し、直ちに暗緑色に変わる。

灰分 16.0 % 以下。

酸不溶性灰分 4.0 % 以下。

チョレイ末

Powdered Polyporus Sclerotium

POLYPORUS PULVERATUS

猪苓末

本品は「チョレイ」を粉末にしたものである。

性状 本品は淡灰褐色～淡褐色を呈し、わずかにおいがあり、味はわずかに苦く辛く、かめば細かい砂をかむような感じがある。

本品を鏡検するとき、無色透明で径 1 ~ 2 μm、まれに 13 μm に至る菌糸、光を強く屈折する顆粒体、わずかの粘液板、これらからなる偽組織片、わずかに褐色の偽組織片及びシウ酸カルシウムの単晶を認める。単晶の径は 10 ~ 40 μm、まれに 100 μm に達する。

確認試験 本品 0.5 g にアセトン 5 mL を加え、水浴上で振り混ぜながら 2 分間加温した後、ろ過し、ろ液を蒸発乾固し、残留物を無水酢酸 5 滴に溶かし、硫酸 1 滴を加えるとき、液は赤紫色を呈し、直ちに暗緑色に変わる。

灰分 16.0 % 以下。

酸不溶性灰分 4.0 % 以下。

貯法 容器 気密容器。

チング油

Zinc Oxide Oil

本品は定量するとき、酸化亜鉛 (ZnO : 81.39) 45.0 ~ 55.0 % を含む。

製法

酸化亜鉛	500 g
植物油	適量
全量	1000 g

以上をとり、研和して製する。ただし、植物油の一部の代わりに「ヒマシ油」又はポリソルベート 20 適量を用いるこ

とができる。

性状 本品は白色～類白色の泥状物で、長く静置するとき、成分の一部を分離する。

確認試験 本品をよく混和し、その 0.5 g をるつぼにとり、加温して融解し、徐々に温度を高めて全く炭化し、更にこれを強熱するとき、黄色を呈し、冷えると色は消える。残留物に水 10 mL 及び希塩酸 5 mL を加え、よく振り混ぜた後、ろ過し、ろ液にヘキサシアノ鉄 (III) 酸カリウム試液 2 ~ 3 滴を加えるとき、白色の沈殿を生じる (酸化亜鉛)。

定量法 本品をよく混和し、その約 0.8 g を精密に量り、るつぼに入れ、徐々に温度を高めて全く炭化し、次に残留物が黄色となるまで強熱し、冷後、水 1 mL 及び塩酸 1.5 mL を加えて溶かした後、水を加えて正確に 100 mL とする。この液 20 mL を正確に量り、水 80 mL を加え、水酸化ナトリウム溶液 (1 → 50) を液がわずかに沈殿を生じるまで加え、次に pH 10.7 のアンモニア・塩化アンモニウム緩衝液 5 mL を加えた後、0.05 mol/L エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム液で滴定する (指示薬: エリオクロムブラック T・塩化ナトリウム指示薬 0.04 g)。

0.05 mol/L エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム液 1 mL
= 4.069 mg ZnO

貯法 容器 気密容器。

チンピ

Citrus Unshiu Peel

AURANTII NOBILIS PERICARPIUM

陳皮

本品はウンシュウミカン *Citrus unshiu* Markovich 又は *Citrus reticulata* Blanco (*Rutaceae*) の成熟した果皮である。

性状 本品は形が不ぞろいの果皮片で、厚さ約 2 mm である。外面は黄赤色～暗黄褐色で、油室による多数の小さなくぼみがある。内面は白色～淡灰黄褐色である。質は軽くてもろい。

本品は特異な芳香があり、味は苦くて、わずかに刺激性である。

確認試験 本品の粉末 0.5 g にメタノール 10 mL を加え、水浴上で 2 分間加温した後、ろ過する。ろ液 5 mL にリボン状のマグネシウム 0.1 g 及び塩酸 1 mL を加えて放置するとき、液は赤紫色を呈する。

乾燥減量 13.0 % 以下 (6 時間)。

灰分 4.0 % 以下。

エキス含量 希エタノールエキス 30.0 % 以上。

精油含量 本品の粉末 50.0 g をとり、精油定量法により試験を行うとき、その量は 0.2 mL 以上である。ただし、あらかじめフラスコ内の試料上にシリコン樹脂 1 mL を加え、試験を行う。